

九名會見ノ事業主側ヨリ未交渉ハ吾々同業者トシテ重大性
 ヲ有スルモノニシテ本席上代表者ノミヲ以テ協定スルハ不
 可能故意見ノ交換ヲ遂ケ一應組合員全般ニ諮リタル上本席
 的折衝ニ入り度キ旨ヲ速ニ労働者側ニ之ヲ諒トシテ交渉ニ
 入り要求書中第一、二、四、ノ三項ハ大体ニ於テ事業主側ニ容
 認スヘキ意向ヲ示シタルカ第三項最低標準給料制定ノ件ハ
 事業主ニ於テ現下ノ營業狀態ヨリ容認シ得ストナシ容易ニ
 僅ル處ナカリシカ結局労働者側ヨリ各事業者間ニ於テ七、八
 ナル懸隔アルヲ以テ當分事業主ノ經濟狀態ヲ考慮スルモノ
 ナリト次ノ折衷案ヲ提示セルニ大体ニ於テ勞資ノ意見一致
 ヲ見ルニ至リ再會ヲ約シテ午後一時會見ヲ了セリ
 労働者側ノ折衷案
 船長 檣岡士ハ

現給六十円給ニ對シ七十圓ニ増額
 " 五十円ヲ 六十円ニ増額
 " 四十円ヲ 五十円ニ増額
 水夫 火夫ハ
 現給四十円給ニ對シ五十円ニ増額
 " 三十円 " 四十円 "
 " 二十円 " 三十円 "
 右及申(通)報限也